

DakoLink IHC ソリューション | PT Link 免疫組織化学染色用 前処理システム

PT Link は再現性の高い染色結果を提供する簡便な前処理システムです。脱パラフィン、親水化、抗原賦活を1ステップで行い(3-in-1処理)、ダコ Autostainer Link 48での染色に最適化されています。

PT Link での前処理と Autostainer Link 48での染色を同時に実施することにより、短時間により多くの免疫染色スライドを効率的に処理することが可能です。

短時間で大量処理

- 脱パラフィン、親水化、抗原賦活の各処理を1つのステップにすることで、ワークフローを改善し、生産性を向上します。
- 開始時刻設定機能により処理を始める時刻をあらかじめセットできるので、オーバーナイト処理が可能です。
- 予熱モードにより、タンク内の緩衝液を 30 ~ 85°Cの間で選択した温度に保ちます。

確立された正確性

- 脱パラフィン、親水化、抗原賦活のプロトコールが標準化されているので、高い再現性を提供します。
- 安全性を高めるために沸騰防止オプションや、低液面警告機能も備えています。
- 前処理中のデータを記録し、レポート作成が可能です。

最適ワークフローを実現

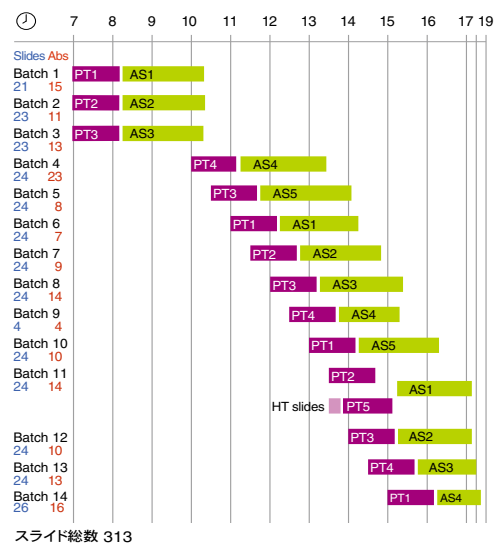
- PT Link と、ダコ Autostainer Link 48 との併用によるスライド処理で、最大の時間効率が得られます。
- ミニバッチ (少ないスライド数) 連続装填でも、48 枚フル装填でも、検体スライドを効率的に処理することができます。
- PT Link とダコ Autostainer Link 48 は共通のスライドラックを使用するため、スライド処理にかかる時間を軽減します。
- PT Link、ダコ Autostainer Link 48 それぞれ 3 台までを 1 台の Dako Link ワークステーションで接続できます。

DakoLink IHC で最適ワークフローを構築

病理検査室のワークフローは、検体受領時や染色装置が空く時点などに合わせて最適化することができます。下のグラフは、オランダのある多忙な検査室が DakoLink IHC によるワークフローで、1 日に検体スライド 313 枚を処理した詳細を示しています。

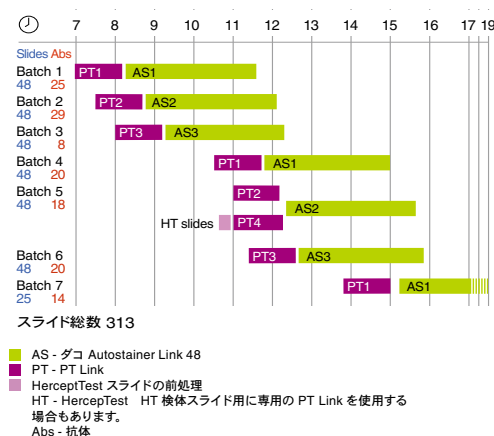
ミニバッチ (少ないスライド数) 連続装填

検体スライドを小バッチに分けて 30 分毎に処理するワークフローを設定できます。5 台のダコ Autostainer Link 48 と 5 台の PT Link 装置で、313 枚を 14 バッチに分割して処理した例です。PT Link とダコ Autostainer Link 48 は各 1 台が常に空いており、緊急染色オーダーに対応します。



フル装填

染色装置へ検体スライドをフル装填、つまりスライド最大 48 枚の大バッチを 1 日中稼働させるワークフローを設定します。3 台のダコ Autostainer Link 48 と 4 台の PT Link を使用し、バッチ 7 回で 313 枚のスライドを処理します。



PT Link 仕様

寸法	W26cm × D65cm × H26cm
重量	12kg
電気要件	120V、60Hz
通常使用環境温度範囲	15 ~ 30°C
最低使用環境温度	10°C
最高使用環境温度	40°C
温度調節精度	± 2°C
最大相対湿度	30°C以下で 80%、温度の上昇に比例して下がり、40°Cで 50%
スライド収容枚数	48 枚
前処理タンク	2 タンク Autostainer のスライドラックにスライドをセットして、2 スライドラックを 1 タンクに収容可能



Dako

An Agilent Technologies Company

掲載内容は、2013 年 4 月のものです。掲載内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ダコ・ジャパン株式会社
www.dako.jp

〒108-0023
東京都港区芝浦4丁目16番36号
住友芝浦ビル

Tel : 03-5232-9970
Fax : 03-5232-9969